

「スマホは子どもを守ってくれると言う、それはありません。」

安全な使い方は、親の責任です。



何が危険なのか

使い方を → 子どもは知っている。親は知らない。

活用するために何が必要なのか。



保護者対応が基本

知ってください、ネット社会7つの常識

1. インターネットは、自己責任の世界です。
2. 全ての情報発信は、謙虚な姿勢でしましょう。
3. むやみに、個人情報公開しません。
4. 危険なサイトには、近づきません。利用しません。
5. 著作権・肖像権などを、侵害しません。
6. コンピュータウィルスへの対策は、講じます。
7. ID・パスワードは、しっかり管理します。



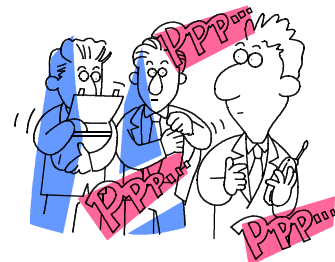
これだけの判断力・自制力・責任力が求められます。

しかし

子どもに、これを全て求めるのは無理です。

トラブル(情報の受信発信)

1. 掲示板・チャットの誹謗中傷
2. 個人情報の流失
3. 出会い系サイトの危険
4. 著作権侵害
5. 肖像権侵害
6. ファイル交換ソフトの利用
7. 掲示板での犯罪予告



トラブル(電子メール)

1. コンピュータウィルス
2. 迷惑メール
3. チェーンメール
4. カメラ付き携帯の違法な使い方
5. 架空請求詐欺
6. ワンクリック詐欺
7. フィッシング詐欺



その他、深刻ないじめに発展したり、ゲーム依存症に陥り、普段の生活が破綻するほどの状況になることもあります。多くの場合、気づいたときには、手遅れになっています。

子どもに持たせた以上は、
これは全部、保護者の責任にかかってきます。



人としての基本

1. 自身の発言・行動に責任を持つ。
2. 自己中心的でなく、相手を思いやる。
3. 知らない人に、自分のこと・家族のことを話さない。
4. 危険な場所には近づかない。
5. 名誉・著作・肖像の権利侵害をしない。
6. 自宅の防犯・災害対策をする。
7. 家の鍵やクレジットカードを無くさない。人に預けない。



スマホでは、この当たり前の事が麻痺して、
子どもは、安易に使ってしまう危険性があります。
持たせる場合は、安全・安心につかうために、

- ★家庭でルールを決め、正しい利用方法を確認しましょう
- ★危険から守るフィルタリングを設定しましょう。

